

就学義務猶予免除者等の中学校卒業程度認定試験

平成 27 年度 社 会 (40 分)

注 意 事 項

1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

2 この問題冊子は全 33 ページです。

試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの^{らくちょう}落^{らんちょう}丁・^{らんちょう}乱^{らんちょう}丁及び汚れ等に気付いた場合は、手をあげて試験監督者に知らせなさい。

3 試験開始の合図の後、受験地、受験番号、氏名を解答用紙に記入しなさい。

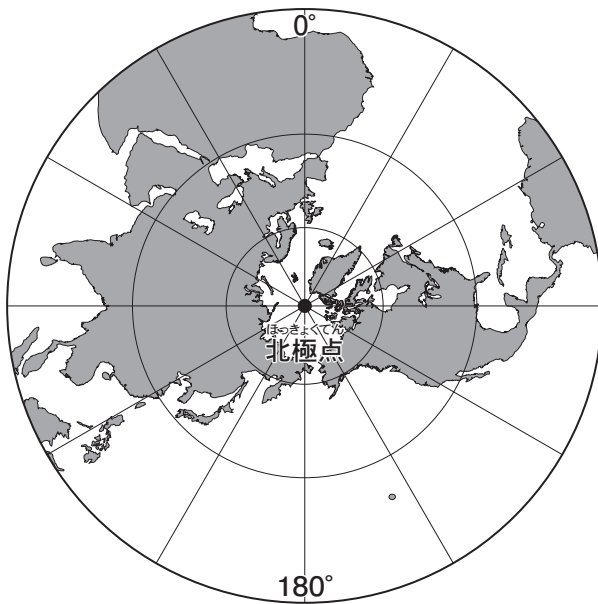
4 解答は、各設問の指示に従い、全て解答用紙の解答らんに記入しなさい。

5 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってかまいません。

1 次の(1)から(6)までの各問いに答えなさい。答えは、**ア**から**エ**までのの中から一つずつ選んで、解答用紙のらんのその記号を○で囲みなさい。

(1) 新一さんのクラスでは、次の**資料1**と**資料2**を見て、気付いたことを発表した。これらの資料を読み取ったものとして**適切でないものは**、下の**ア**から**エ**までのどれか。

資料1 北極を中心に地球を描いた図



資料2 南極を中心に地球を描いた図

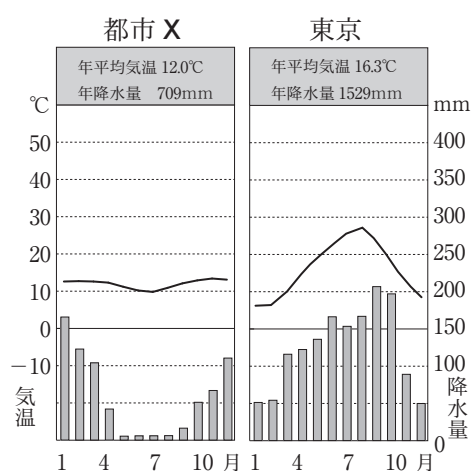
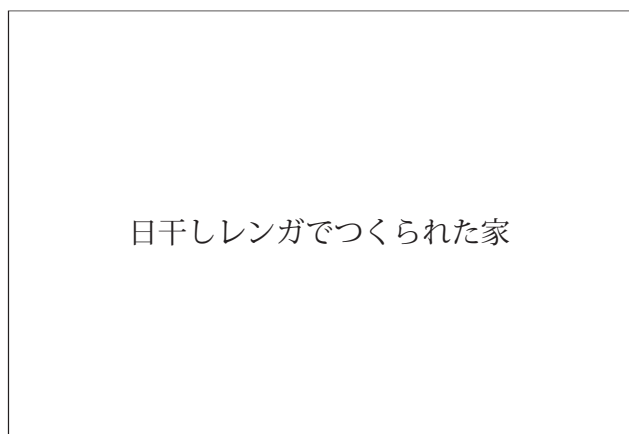


- ア ヨーロッパ州は北半球に位置しているね。
- イ 南極大陸に最も近い大陸は南アメリカ大陸だね。
- ウ 本初子午線はヨーロッパ州とアフリカ州を通っているね。
- エ アジア州の大部分の都市の位置は西経をつかって表されるね。

- (2) 絵梨花さんは、世界の様々な衣食住の様子を調べ、次のレポートを作った。このレポートで示している衣食住の様子が見られる都市 X の位置として最も適切なものは、あとの地図中のアからエまでのどれか。

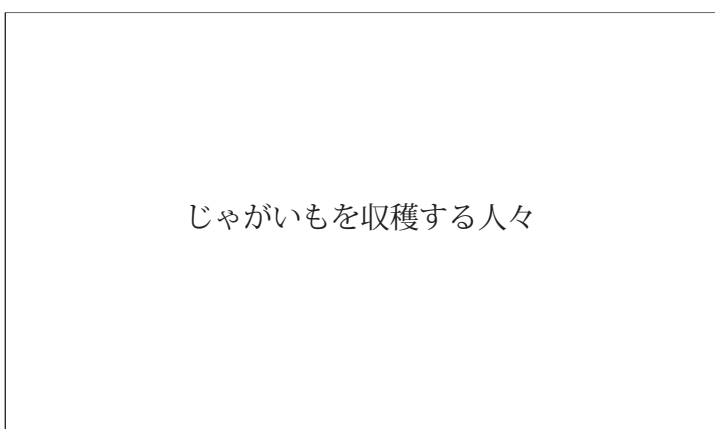
レポート 都市 X の衣食住の様子

- ① 都市 X と東京の雨温図を比べると、都市 X は降水量が少ないため、住居には次の写真のような日干しレンガでつくられた家



(理科年表などにより作成)

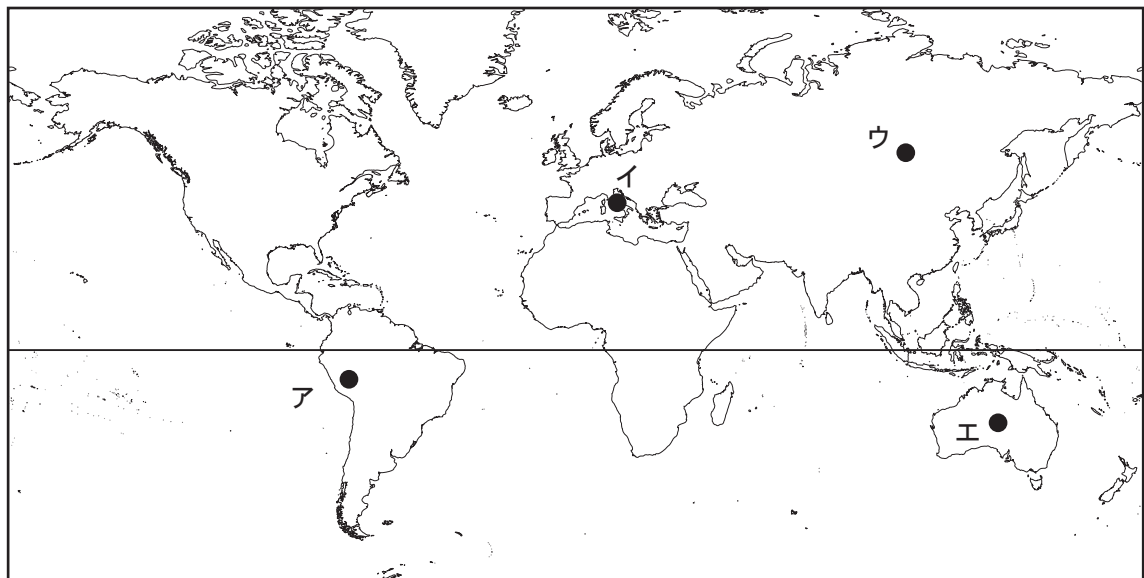
- ② 都市 X で日常的に食べられている作物は、トウモロコシや次の写真に見られるジャガイモなどが中心です。



- ③ 都市 X の近くに住む人々は強い日ざしを防ぐために、次の写真のように昔から帽子をかぶり、写真に写っている動物の毛でつくった衣類を重ね着している人が多いです。

民族衣装を着た女性とアルパカ

地図



- (3) 麻衣さんたちは、小麦の生産と輸出のそれぞれ上位7か国を地図にまとめた資料1と資料2について話し合っている。麻衣さんたちの会話文中の ① と ② にあてはまる語句の組合せとして最も適切なものは、あとのアからエまでのどれか。

資料1 小麦の生産が多い上位7か国(2011年)



資料2 小麦の輸出が多い上位7か国(2011年)



注) 中華人民共和国の統計に、台湾、香港は含まない。
(『データブック・オブ・ザ・ワールド 2014』などにより作成)

会話文

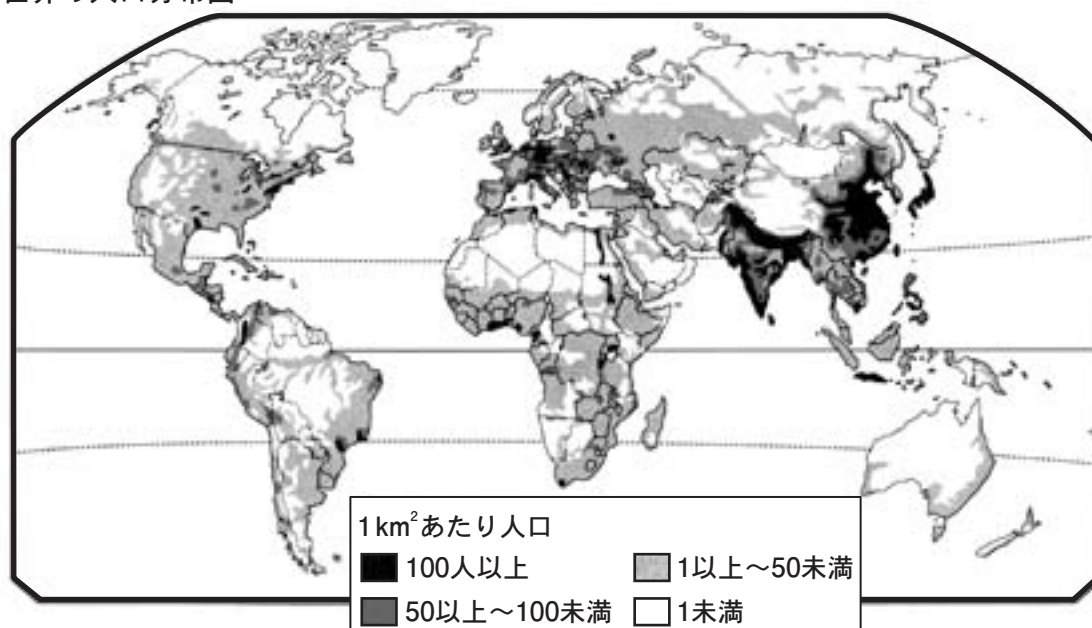
麻衣さん：小麦をたくさん作っている国だったら当然輸出も多いものだと思っていたら、そうではない国もあるのね。

康さん：そうだね。よく見ると中華人民共和国や ① は、輸出は世界の上位7か国に入っていないね。なぜなのだろう。

里奈さん：下の分布図を見て。中華人民共和国と ① はともに、② 地域が広範囲に広がっているから、小麦の消費が多く、輸出することが難しいのではないかな。

麻衣さん：なるほど、そうかもしれないわ。

世界の人口分布図

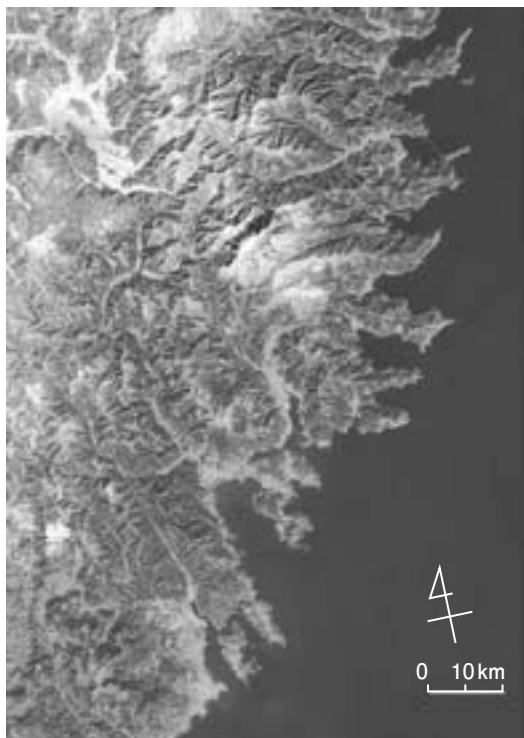


(Diercke weltatlas 2008 による)

	①	②
ア	アルゼンチン	人口が密集している
イ	アルゼンチン	人口分布がまばらな
ウ	インド	人口が密集している
エ	インド	人口分布がまばらな

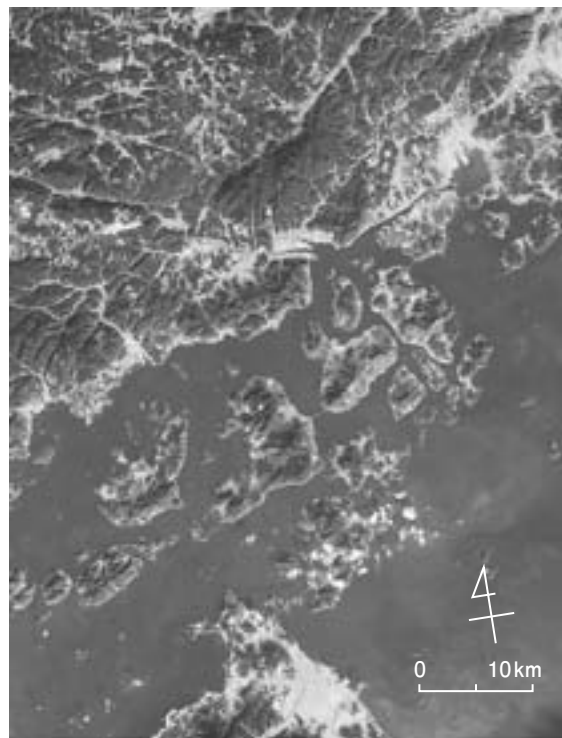
- (4) 洋一さんたちのクラスでは、日本各地の地域的特色について学習するため、次の資料を手に入れた。資料中の **X** ， **Y** にあてはまる地方名の組合せとして正しいものは、下のアからエまでのどれか。

資料



(JAXA だいち写真ギャラリー 2006 年 12 月撮影)

この写真には **X** 地方の一部の地域が表されています。この地域の沖合は、暖流と寒流がぶつかるよい漁場となっています。写真に見られる入り江は、その地形を生かした漁港となっており、また、ワカメやカキなどの養殖も行われています。



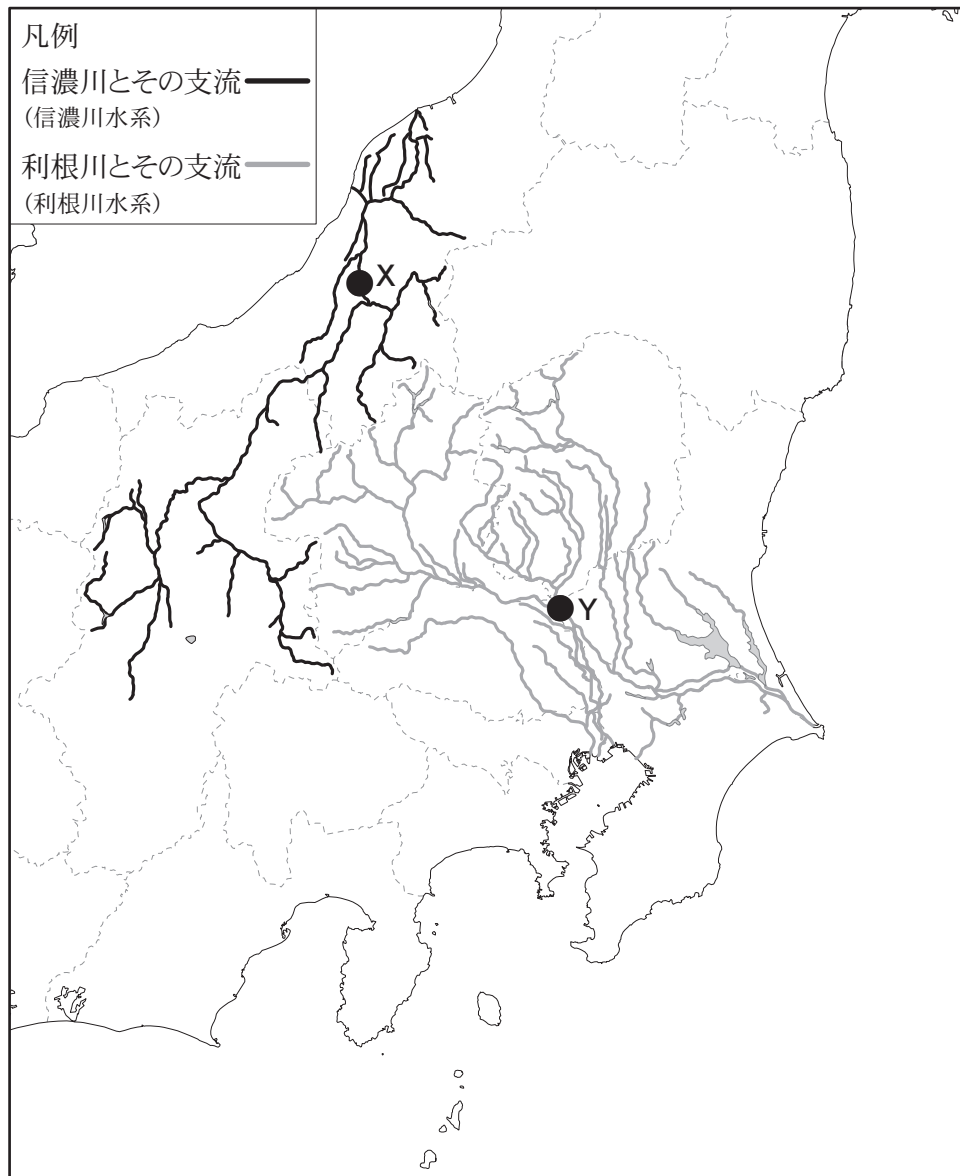
(JAXA だいち写真ギャラリー 2009 年 12 月撮影)

この写真には **Y** 地方の一部の地域が表されています。この地域は、温暖で年間降水量が少なく、みかんやレモンなどの栽培がさかんです。この地域の海は船による行き来がさかんで、地域内だけでなく、昔から国内外を結ぶ重要な経路となっています。

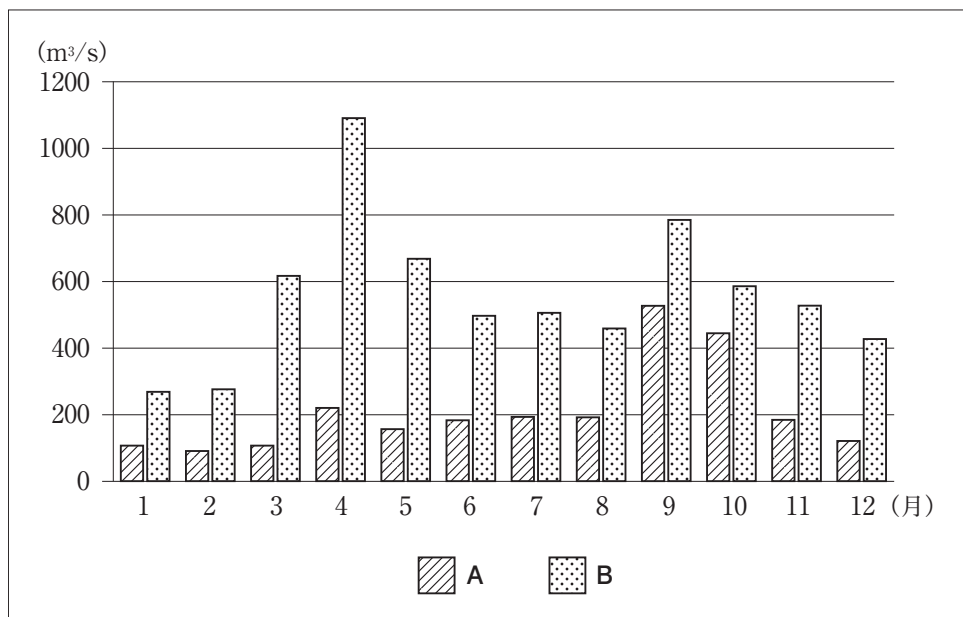
	X	Y
ア	関東	九州
イ	関東	中国・四国
ウ	東北	九州
エ	東北	中国・四国

- (5) 友美さんは、信濃川と利根川に関して、次の地図と資料1、資料2を手に入れた。資料1中のAとB、資料2中のCとDは、それぞれ信濃川または利根川のいずれかを示している。これらの資料のうち、信濃川を示すものの組合せとして適切なものは、あとのアからエまでのどれか。

地図



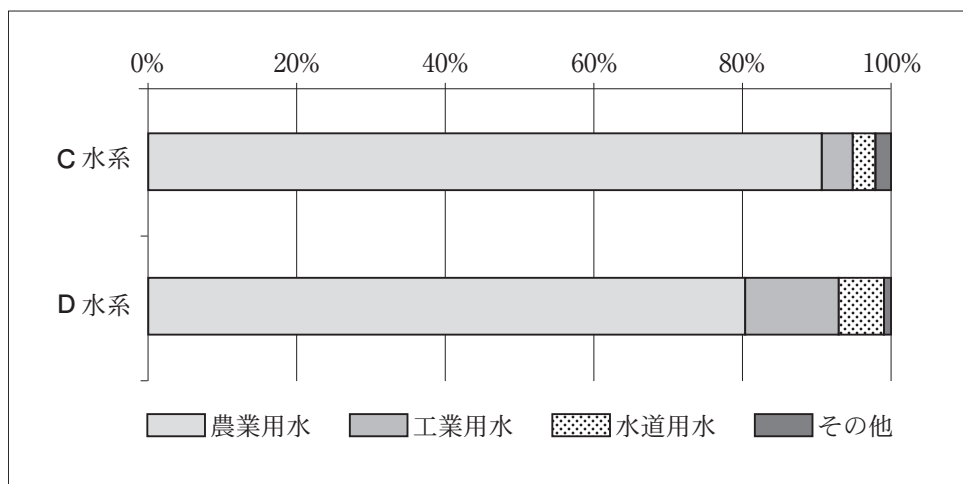
資料 1 信濃川と利根川の月別平均流量(2013 年)



注) 信濃川の観測地点は地図中の X 地点、利根川の観測地点は地図中の Y 地点である。

(国土交通省水文水質データベースにより作成)

資料 2 信濃川水系と利根川水系における水利用の内訳(発電を除く)



(国土交通省河川整備基本方針により作成)

	資料 1	資料 2
ア	A	C
イ	A	D
ウ	B	C
エ	B	D

- (6) 雅史さんと健一さんは、自分たちが住む町の変化について資料1と資料2を見て気づいたことを資料3にまとめた。資料3について適切に説明しているものは、あとのアからエまでのどれか。

資料1



(国土地理院発行 2万5千分の1地形図「厚木」昭和29年)

資料 2



(国土地理院発行 2 万 5 千分の 1 地形図「厚木」平成 27 年)

資料 3

雅史さん かつて水田などの耕作地だったところが、広く住宅地などに変わった。

健一さん 東西方向に走る高速道路や、南北方向に走る幹線道路が整備された。

- ア 雅史さんも健一さんも正しい。
- イ 雅史さんは正しいが、健一さんは誤っている。
- ウ 雅史さんは誤っているが、健一さんは正しい。
- エ 雅史さんも健一さんも誤っている。

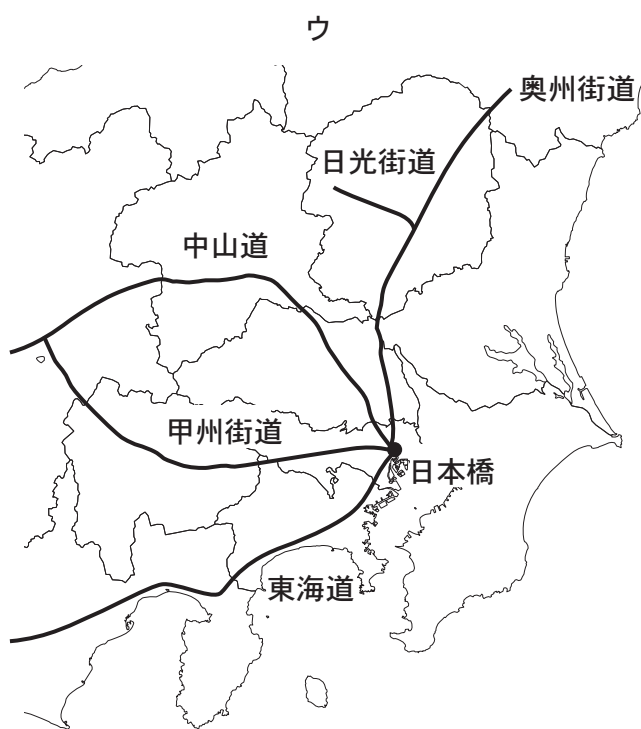
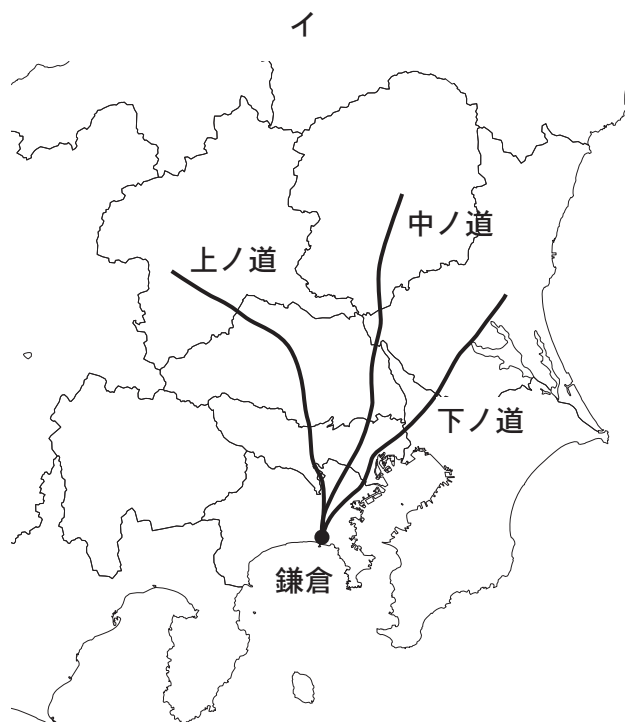
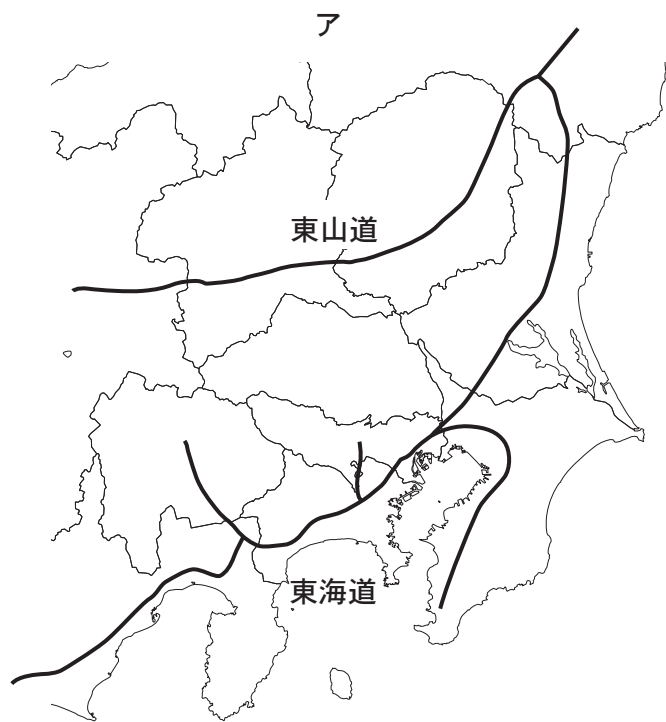
2

次の(1)から(6)までの各問いに答えなさい。答えは、**ア**から**エ**までのの中から一つずつ選んで、解答用紙のらんのその記号を○で囲みなさい。

- (1) 次の年表の **X** の時期に主要な交通路として整備され、主に活用されていたものは、あとの**ア**から**エ**までのどれか。

時代	おもなできごと
古 代	桓武天皇が平安京に都を移す
中 世	源頼朝が鎌倉幕府を開く
	徳川家康が江戸幕府を開く
近 世	徳川慶喜が大政奉還をする
近 代	伊藤博文が初代内閣総理大臣になる

注) 各時代の幅は、その実際の長さとは関係がない。



注)・ア～エの行政区界については、現在の都県境を示している。

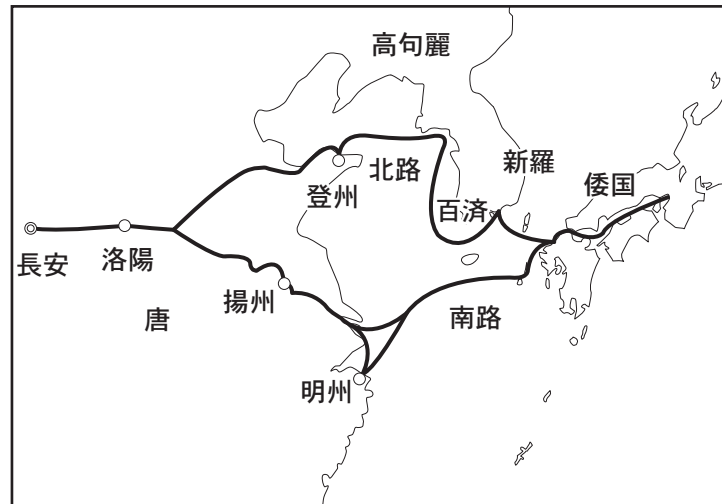
・図中の経路は、今日確認されているもののみ記入してある。

- (2) 遣唐使に関する次の資料 1 から資料 3 を参考に，説明文中の ① ， ② にあてはまる組合せとして適切なものは，あとのアからエまでのどれか。

資料 1 遣唐使に関する年表

年	航路
630	北路
653	
654	
659	
665	
667	
669	
702	南路
717	
733	
777	
779	
803	
836	

資料 2 遣唐使の航路



注) 地図中の国名・地名については，7 世紀頃のものを示している。

資料 3 当時の東アジアの主な動き

年	東アジアの主な動き
660	百済が滅亡する
663	唐・新羅連合軍が倭国と争う
668	高句麗が滅亡する
670～676	唐と新羅が争う
676	新羅が朝鮮半島を統一する

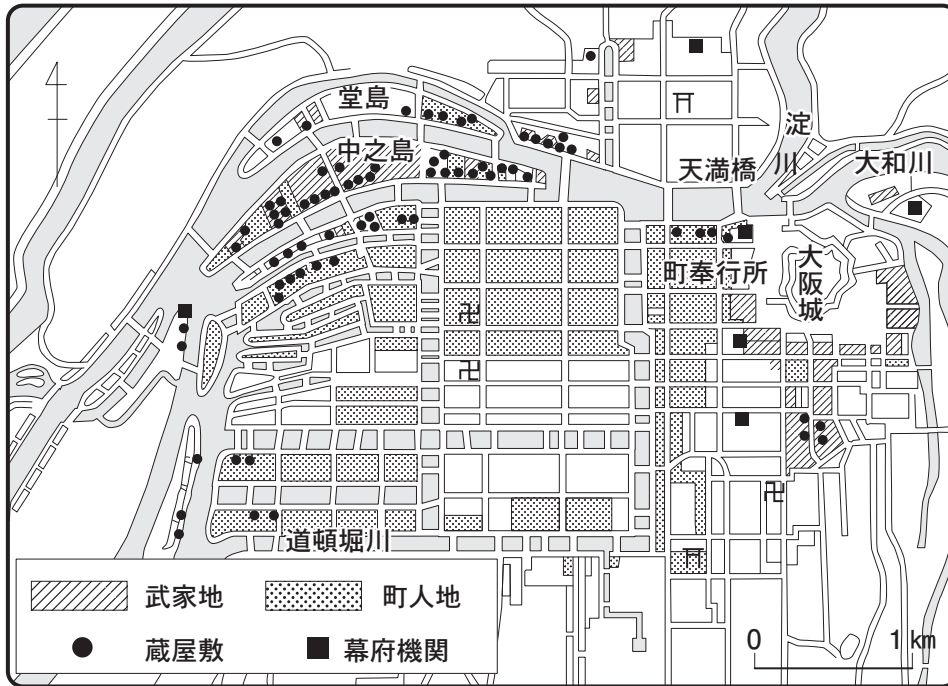
説明文

- ・資料 1 を見ると、遣唐使の航路は ① 世紀はじめに北路から南路へ変更していることがわかる。
- ・資料 3 を見ると、この期間、遣唐使の航路上にある ② が、倭国や唐と争った。そのことは、倭国からの遣唐使の航路が変更された一因と考えられる。

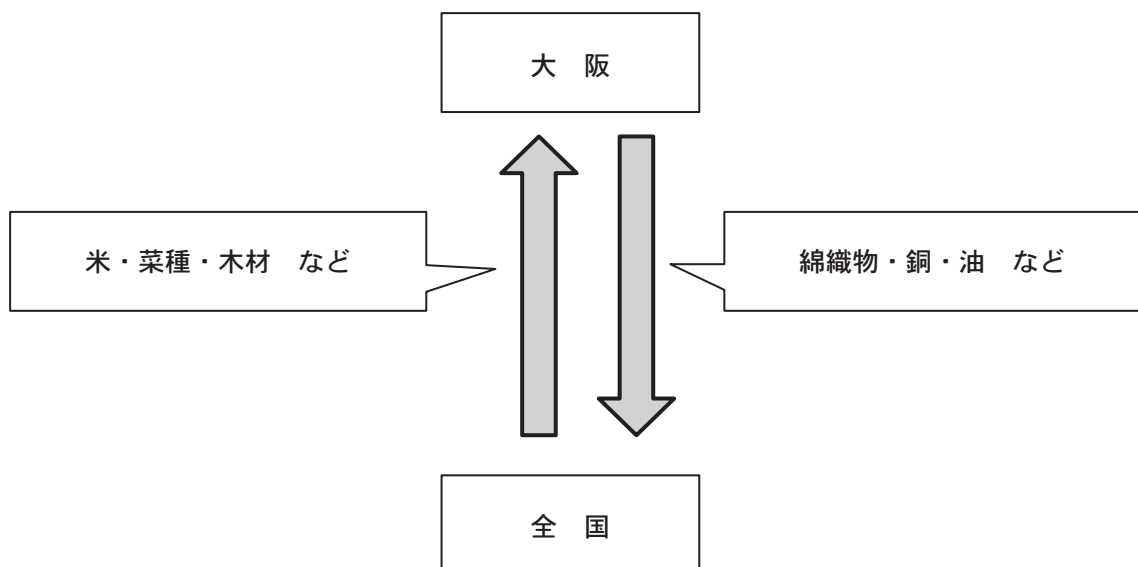
	①	②
ア	7	百済
イ	7	新羅
ウ	8	百済
エ	8	新羅

- (3) 隆さんたちは、江戸時代の物流(主な商品の流れ)について調べようと資料 1 と資料 2 を見つけた。会話文中の ① , ② にあてはまるものの組合せとして正しいものは、あとのアからエまでのどれか。

資料 1 江戸時代の大阪市街図(18 世紀前半)



資料 2 大阪と全国を結ぶ主なもの(18 世紀前半)



会話文

隆さん：資料 1 を見ると，大阪では ① の方が広いことがわかるね。

彰さん：そうだね。大阪に蔵屋敷が多くあったこともわかるよ。

隆さん：さらに資料 2 を見ると，大阪には全国各地から主に特産物や ② が運び込まれて，それが商品として全国に送り出されていったと考えられるよ。

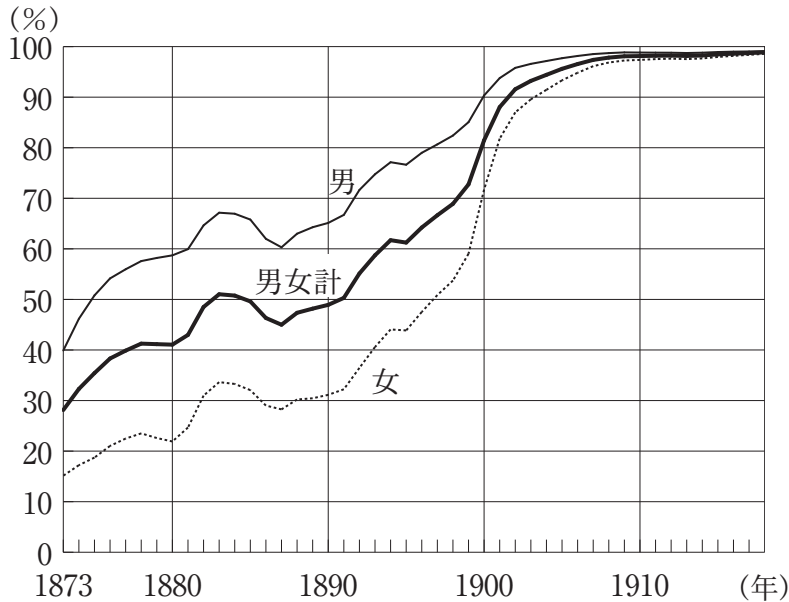
彰さん：そのことは，大阪が「天下の台所」と言われた理由の一つと考えられるね。

	①	②
ア	武家地より町人地	加工品
イ	武家地より町人地	原料品
ウ	町人地より武家地	加工品
エ	町人地より武家地	原料品

(4) 朝陽さんたちは、明治時代の義務教育について調べ、次の資料 1 と資料 2 を見つけた。

朝陽さんたちの会話文中の ① と ② にあてはまる語句の組合せとして適切なものは、下のアからエまでのどれか。

資料 1 義務教育就学率の推移



資料 2 改正小学校令の一部
(1900 年)

「児童は 8 年間を就学期間とする」
「学齢に達した児童の保護者は就学期間の初めから終わりまで、児童を就学させる義務を負う」
「市町村立の尋常小学校は今後授業料を徴収しないこととする」
(原文を意識)

会話文

朝陽さん：資料 1 を見ると、1872 年の学制の発布で義務教育が始まったのに、全員が就学しているわけではないんだね。

智帆さん：そうだね。男女計の就学率が 80% に達したのは ① 年頃だもんね。どうやってみんなが行けるようになったのかな。

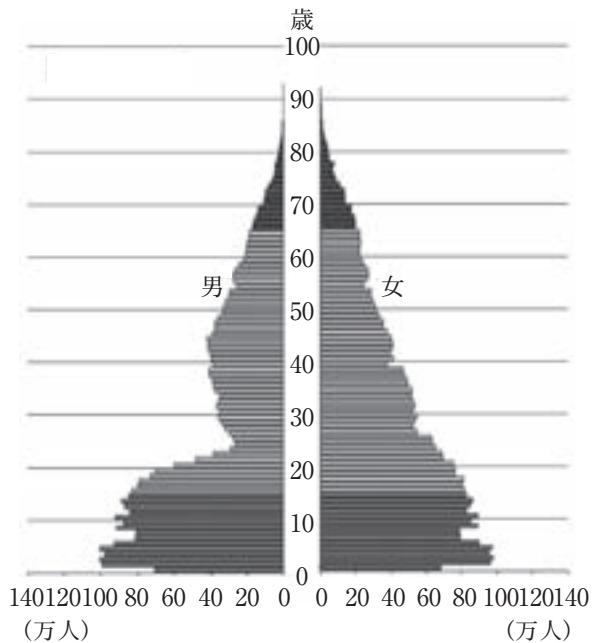
朝陽さん：資料 2 を見ると、1900 年以後は ② ことが影響しているのではないかな。

智帆さん：なるほど、小学校に通いやすい制度が整ってきたんだね。

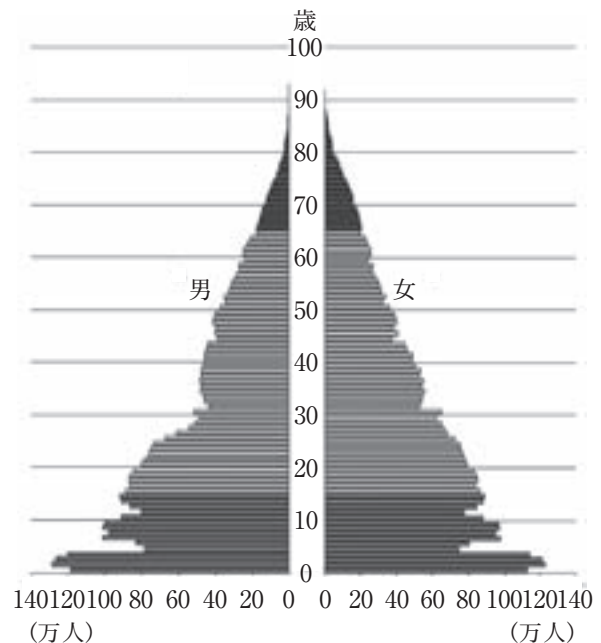
	①	②
ア	1890	授業料がなくなった
イ	1890	学校に行く期間が短くなった
ウ	1900	授業料がなくなった
エ	1900	学校に行く期間が短くなった

- (5) 次の資料 1 と資料 2 は、それぞれの年代の日本の人口ピラミッドを示している。これらの資料について述べた^{さとみ}智美さんたちの会話文中の X にあてはまる語句として最も適切なものは、下のアからエまでのどれか。

資料 1 1945 年の人口ピラミッド



資料 2 1950 年の人口ピラミッド



(総務省統計局ホームページによる)

会話文

智美さん：人口ピラミッドというのは、その年に日本国内に住んでいた人の数を、性別や年齢ごとにグラフにしたものだよね。

^{まさとし}雅年さん：そうだね。資料 1 を見てみると、男性のある年代の人口がかなり少なくなっているね。

智美さん：この時は終戦直後で、その年代の男性が多く戦争に行っていたためだろうね。

雅年さん：ならば、資料 2 で 5 年後の男性の人口が増えているのはなぜだろう。

智美さん：それは主に X からじゃないかな。

ア 占領下で外国の兵隊がやってきた

イ 海外からの引きあげ者が帰国した

ウ 戦後に移民を受け入れるようになった

エ 日本にいた外国人が本国に戻った

- (6) 真稔^{まさとし}さんは、父親が生まれた1970年代の日本の様子を調べるために、資料1と資料2を手に入れた。資料について述べた会話文中の ① と ② にあてはまる語句の組合せとして適切なものは、下のアからエまでのどれか。

資料1 東京の夜の繁華街(銀座)の様子
(1974年1月)



資料2 新聞の見出しの一部(1973年11月)

緊急対策要綱を閣議決定
マイカー自粛、週休二日を
給油所は休日営業をやめる
暖房器具の合理的な使用
企業の石油と電力10%減

(朝日新聞(夕刊) 1973年11月16日)

会話文

真稔さん：資料1は銀座の様子だね。少しさみしい感じがするね。

千尋^{ちひろ}さん：確かに、ビルのネオンが消えていて暗いよね。

真稔さん：それだけじゃないよ。街灯もずいぶん消えているようだよ。なぜかな。

千尋さん：これは、① が影響していると思うよ。

真稔さん：そうか、だから資料2にあるような閣議決定^{かくぎ けつてい}が2ヶ月前に出され、
② んだね。

	①	②
ア	石油危機	エネルギーの節約をした
イ	石油危機	電気代が安くなった
ウ	バブル経済	エネルギーの節約をした
エ	バブル経済	電気代が安くなった

3 次の(1)から(5)までの各問いに答えなさい。答えは、**ア**から**エ**までのの中から一つずつ選んで、解答用紙のらんのその記号を○で囲みなさい。

- (1) 彩夏さんは平成 27 年 4 月に統一地方選挙が行われたことを受けて、日本における参政権について調べ、次の表のようにまとめた。

X

 に入る年齢として適切なものは、下の**ア**から**エ**までのどれか。

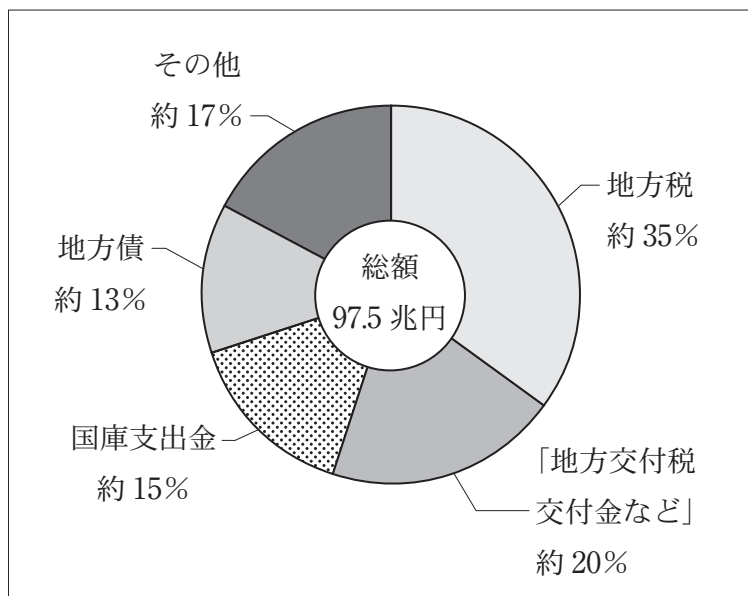
表

	選挙権	被選挙権
市(区)町村長	20 歳以上	25 歳以上
都道府県の知事	20 歳以上	X
都道府県・市(区)町村議会の議員	20 歳以上	25 歳以上

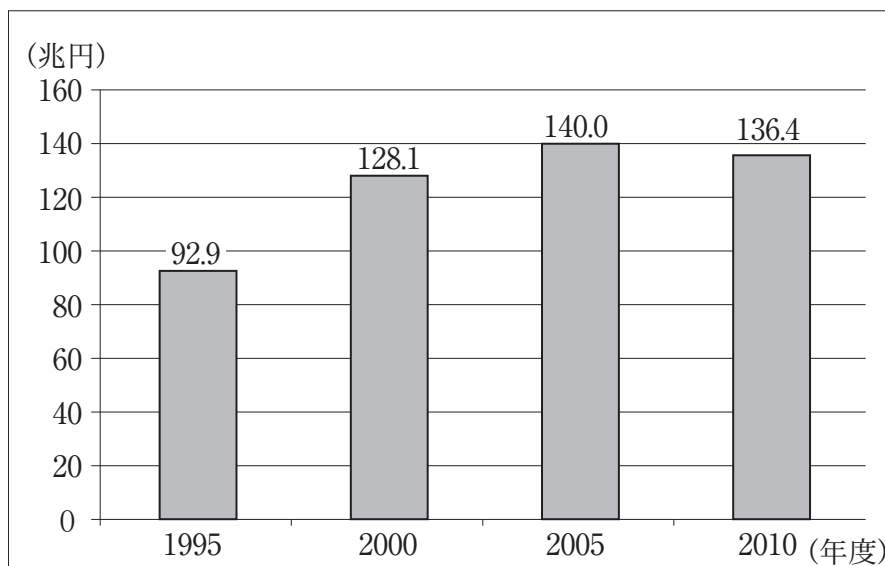
- ア** 18 歳以上
イ 20 歳以上
ウ 25 歳以上
エ 30 歳以上

- (2) 次の地方財政に関連する資料 1、資料 2 から読み取れる説明として最も適切なものは、あとのアからエまでのどれか。

資料 1 全国の地方公共団体の収入総額の内訳(2010 年度)



資料 2 地方債の発行残高の推移



(資料 1・資料 2 とともに総務省ホームページにより作成)

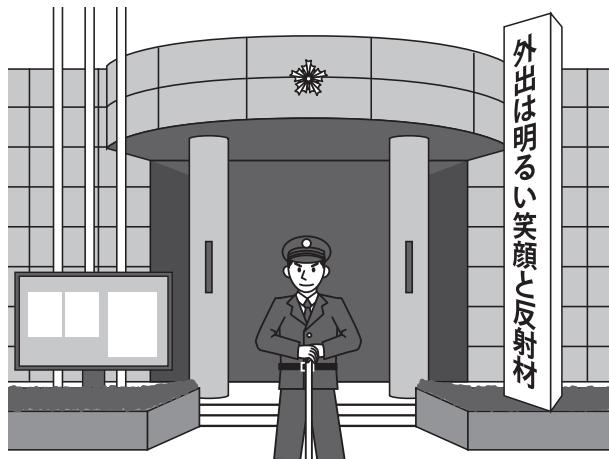
- ア 資料 1 より，全国の地方公共団体の収入総額の中で 2 番目に多いのは「地方交付税交付金など」である。
- イ 資料 1 より，地方財政の 50％以上が国の予算でまかなわれている。
- ウ 資料 2 より，地方債の発行残高は継続して減り続けている。
- エ 資料 2 より，2005 年度は 1995 年度と比較すると約 2 倍の地方債の発行残高がある。

(3) 次のイラストは、国や地方公共団体の仕事をしている人々のようすを示したものである。これらのうち、地方公共団体の仕事をしている人々のようすとして適切でないものは、アからエまでのどれか。

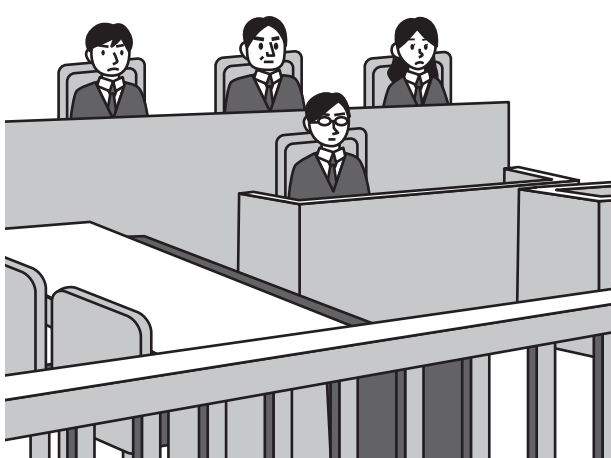
ア



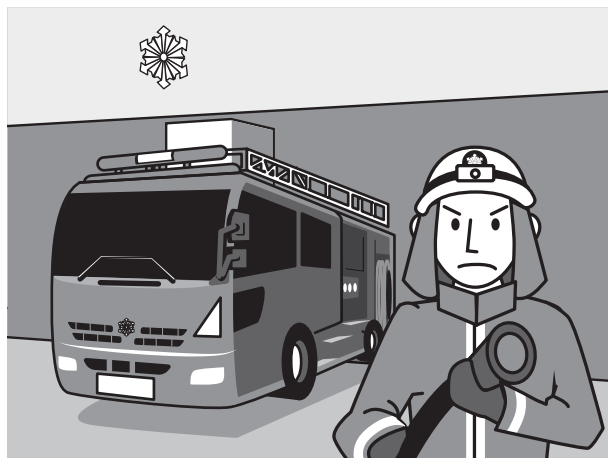
イ



ウ



エ



- (4) ほずみさんは、契約について調べ、次の資料を手に入れた。会話文中の ① , ② にあてはまるものの組合せとして適切なものは、下のアからエまでのどれか。

資料 消費者基本法

第一条 この法律は、消費者と事業者との間の情報の質及び量並びに交渉力等の格差にかんがみ、消費者の利益の擁護及び増進に関し、消費者の権利の尊重及びその自立の支援その他の基本理念を定め、国、地方公共団体及び事業者の責務等を明らかにするとともに、その施策の基本となる事項を定めることにより、消費者の利益の擁護及び増進に関する総合的な施策の推進を図り、もって国民の消費生活の安定及び向上を確保することを目的とする。

会話文

ほずみさん：契約について、調べ学習を進めているのですが。

先生：まず契約の原則を確認しましょう。

ほずみさん：契約は、原則として、① で結ぶべきものだから、一度結んだ契約は守る責任があるのですよね。

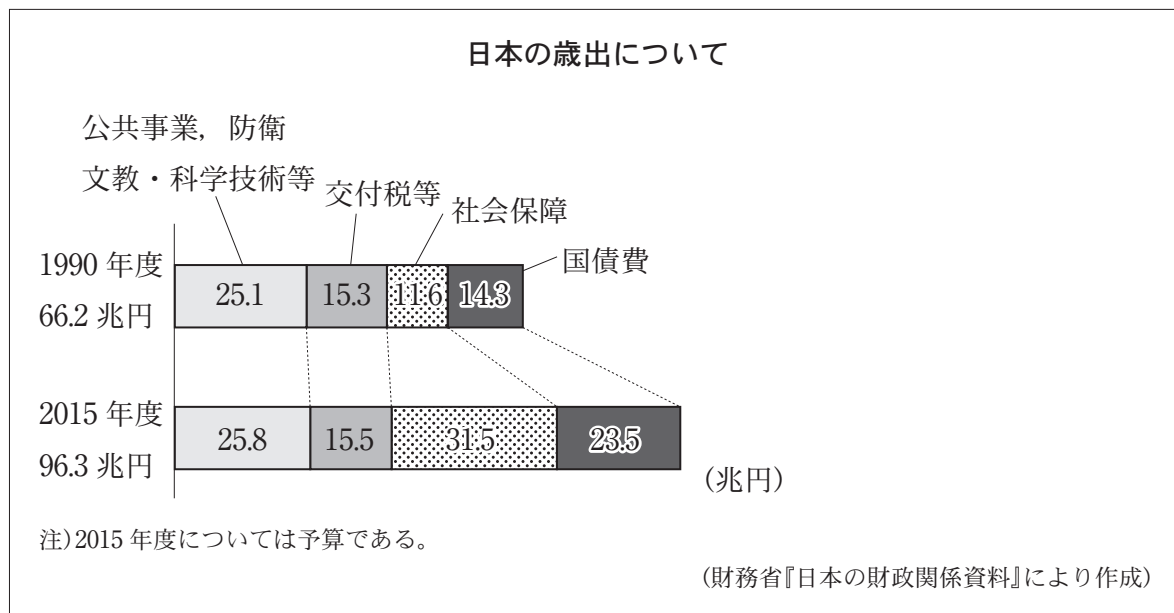
先生：その通りです。しかし、契約がいったん成立したのにもかかわらず、契約を解消できる場合もあるのです。

ほずみさん：クーリング・オフ制度が代表的な例ですよね。クーリング・オフ制度は、資料にもあるように、消費者と事業者では、②の方が、質の高い情報などをより多く持っていることに着目してつくられた制度とも言えるのではないのでしょうか。

	①	②
ア	自分の意志	消費者
イ	自分の意志	事業者
ウ	他者の意志	消費者
エ	他者の意志	事業者

- (5) 憲さんは、日本の歳出について調べ、まとめを作成した。次のまとめ中の X にあてはまるグラフとして最も適切なものは、あとのアからエまでのどれか。

まとめ

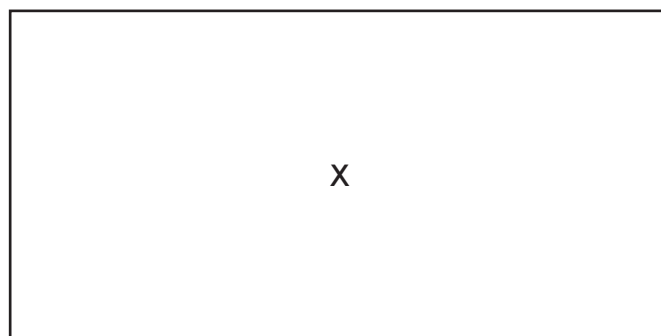


1990 年度と 2015 年度の比較

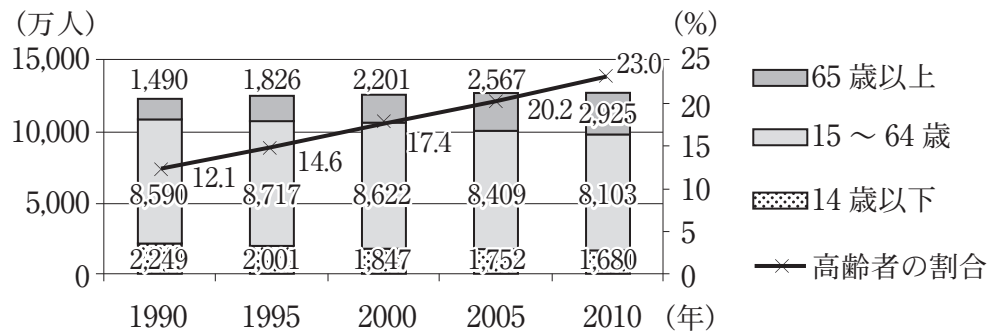
歳出

- ・ 1990 年度に 11.6 兆円であった「社会保険」が、2015 年度には 31.5 兆円に増えている。

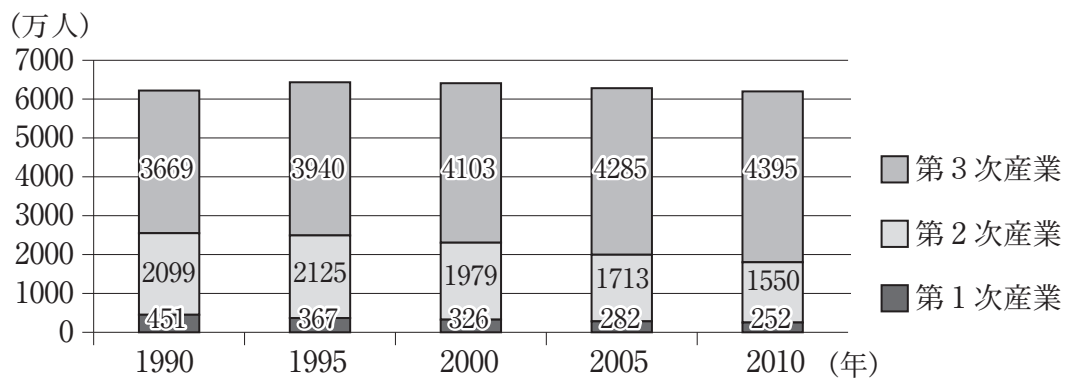
次のグラフは、「社会保険」が増えた原因の一つを最もよく示している。



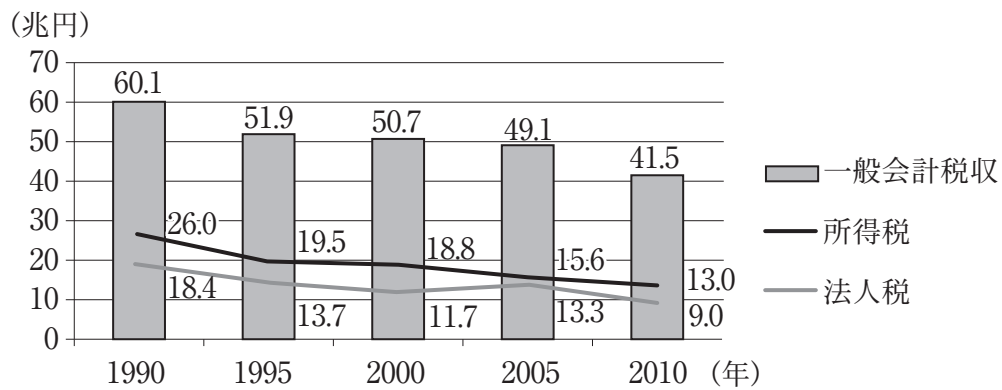
ア



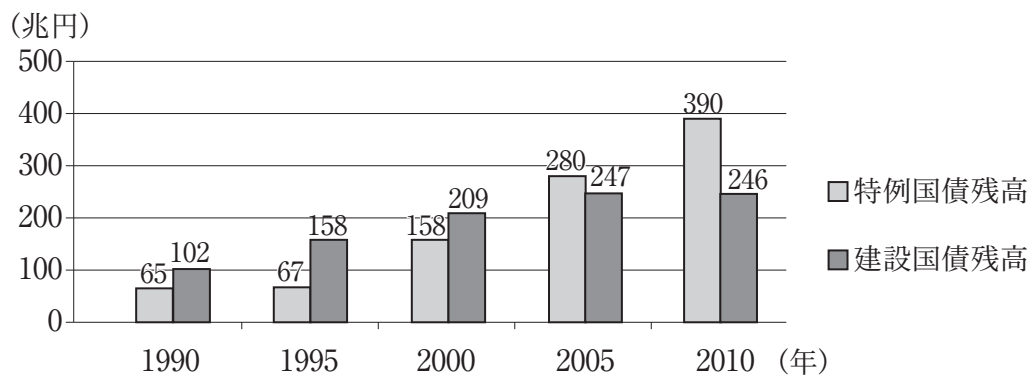
イ



ウ



エ



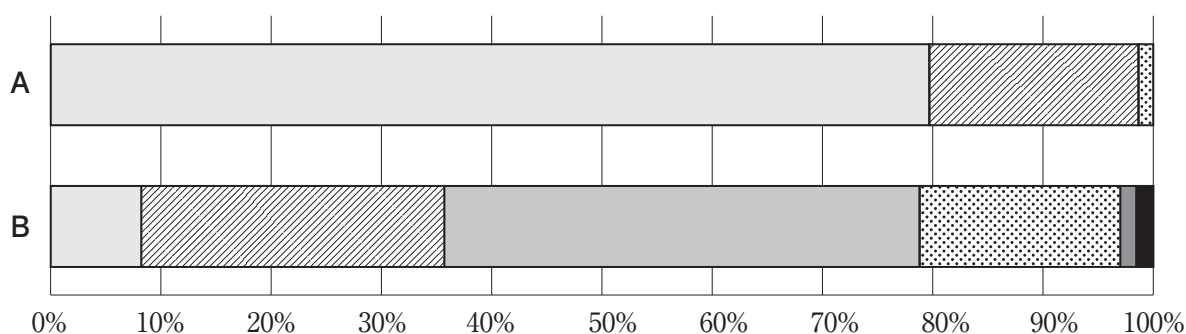
- 4** あゆみさんの班では、戦後 70 年間の日本に関わるできごとについて調べ、次の年表にまとめた。これを見て、あとの(1)から(3)までの各問いに答えなさい。答えは、アからエまでの中から一つずつ選んで、解答用紙のらんのその記号を○で囲みなさい。

年表

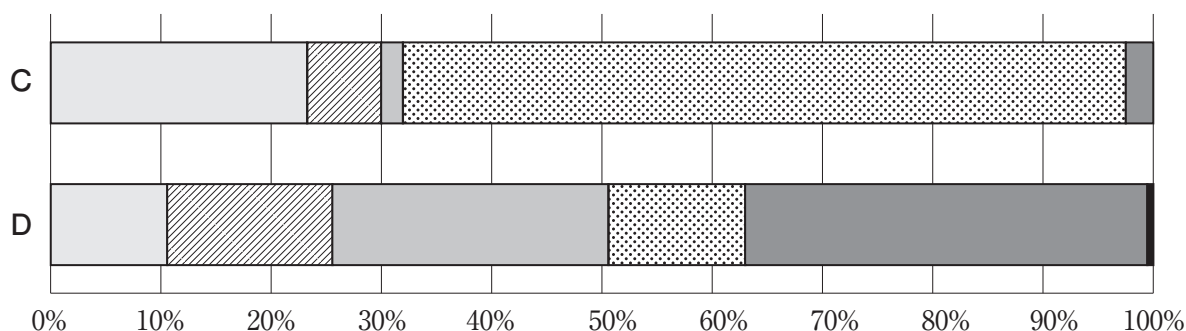
年代	おもなできごと
1945 年	第二次世界大戦が終結する
1946 年	戦後初の衆議院議員総選挙が行われる …… X ① (1952 年)
1955 年	この頃から高度経済成長が始まる ……… Y ② (1972 年)
1973 年	第四次中東戦争が起こる ③ (1998 年)
2011 年	東日本大震災が発生する ④ (2012 年)

- (1) 次の資料 1 と資料 2 は、年表中の ① から ④ の各時期の電源別発電量割合についてまとめたものである。年表中の ① , ④ には資料 1 中の A, B のいずれかが、② , ③ には資料 2 中の C, D のいずれかがあてはまる。年表中の ① , ② にあてはまるものの組合せとして最も適切なものは、あとのアからエまでのどれか。

資料 1 1952 年と 2012 年のいずれかの年の電源別発電量割合



資料 2 1972 年と 1998 年のいずれかの年の電源別発電量割合



(資源エネルギー庁資料により作成)

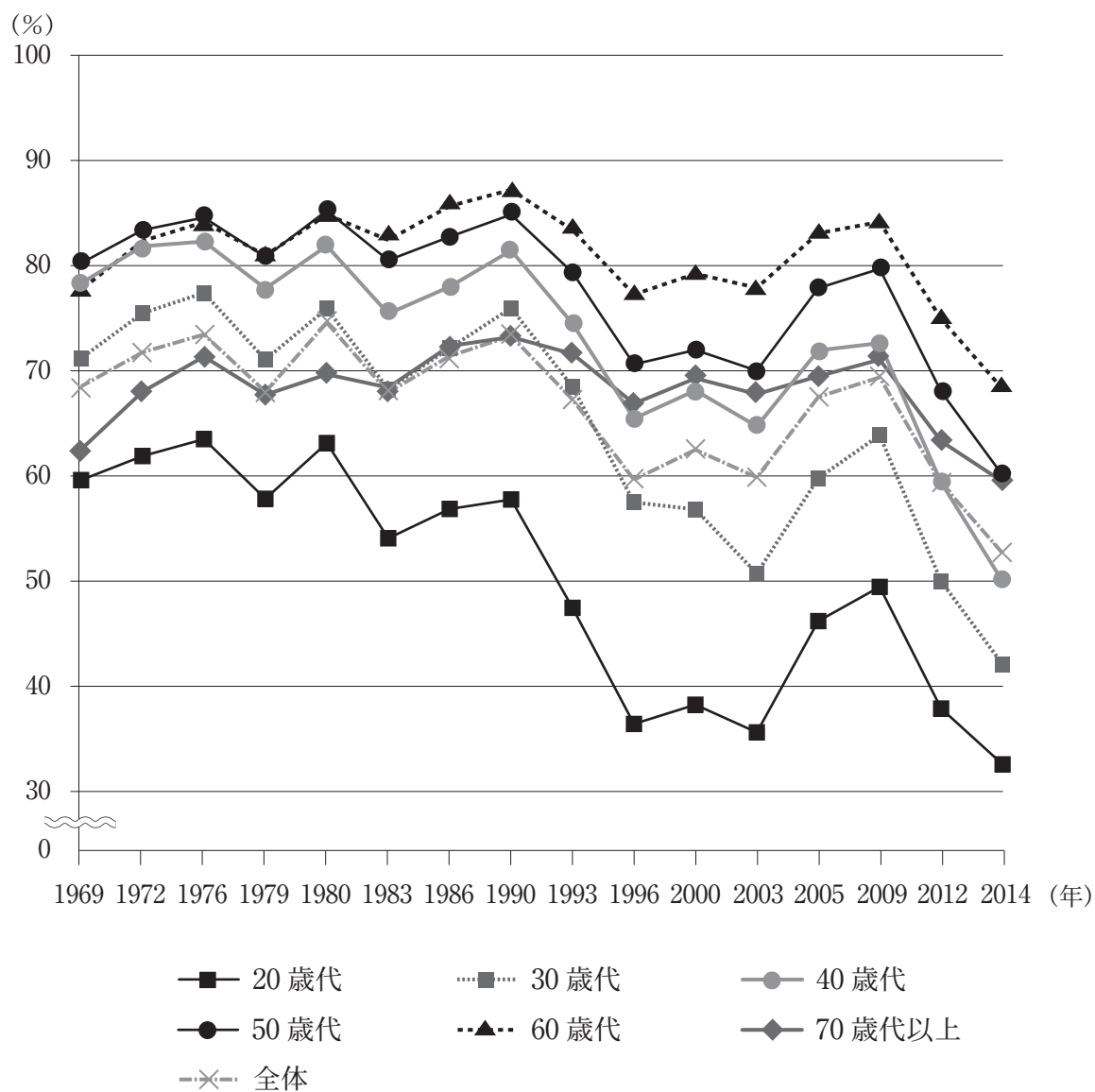
凡例

□ 水力 ▨ 石炭 ■ LNG ▤ 石油等 ■ 原子力 ■ その他

	①	②
ア	A	C
イ	A	D
ウ	B	C
エ	B	D

(2) 年表中の X について、千尋さんは、第二次世界大戦後の衆議院議員総選挙の投票率について調べ、次の資料を手に入れた。あとの会話文中の ①，② にあてはまる組合せとして最も適切なものは、あとのアからエまでのどれか。

資料 衆議院議員総選挙における年代別投票率の推移



(総務省ホームページにより作成)

会話文

千 尋さん：おばあさんに聞いたのですが，1946 年におこなわれた衆議院議員総選挙の投票率は，72.08%だったそうです。それ以降の衆議院議員総選挙の投票率についても調べたのですが，全体を見ると低下傾向にありそうです。

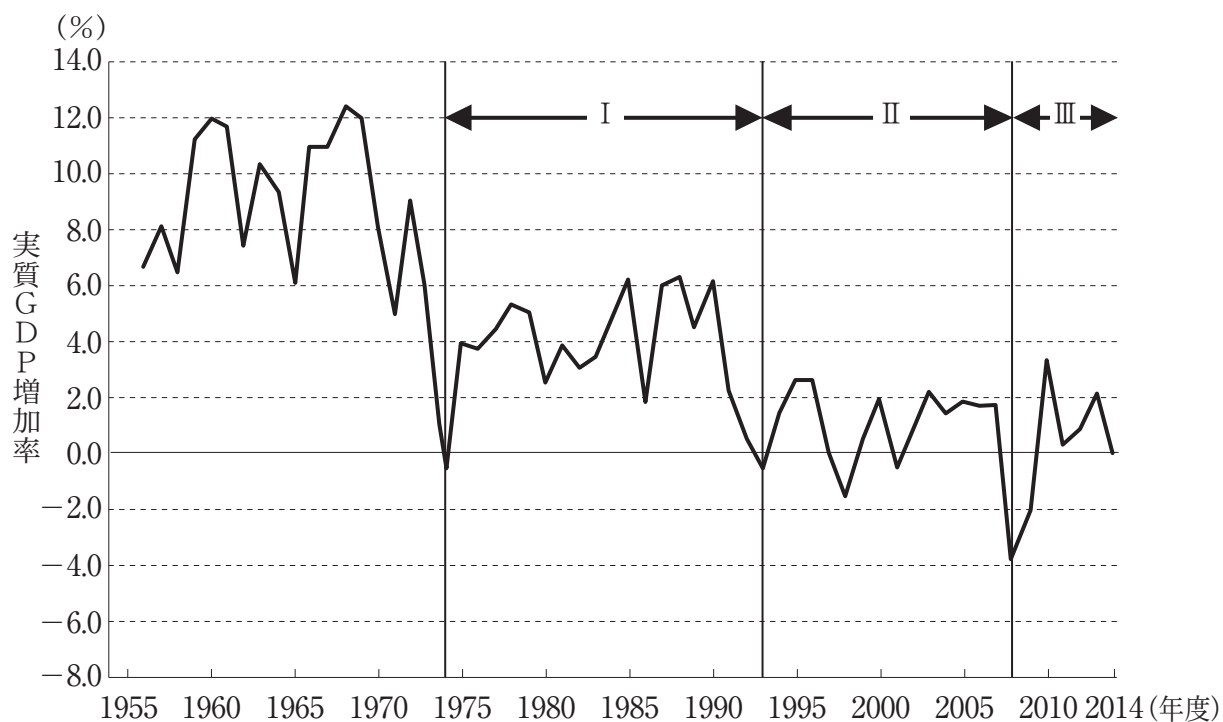
奈穂子さん：そうですね。資料中の各年代の投票率と比較すると，常に投票率が低い年代は，① 歳代ですね。

千 尋さん：選挙は，② を実現するためのもっとも重要な制度であることを，改めて，国民全員が考える必要がありますね。

	①	②
ア	20	資本主義
イ	20	民主主義
ウ	60	資本主義
エ	60	民主主義

- (3) 年表中の Y について、陸さんはその後の日本の経済成長を調べるために、次の資料を作成した。資料中の I から III それぞれの時期の出来事や様子の組合せとして、最も適切なものは、あとのアからエまでのどれか。

資料 戦後日本の国内総生産(GDP)の増加率の変化



- A インターネットなどの情報手段が急速に広まり、情報が一瞬で国境を越えるようになり、世界金融危機などのように、海外の経済動向が瞬時に国内経済に影響を与えるようになった。
- B 自動車などの対米輸出が伸びたことから貿易摩擦が生じたが、その利益で株式や土地が買われ、その価格が上がり続けた。
- C 長期にわたる不況により、企業の倒産や失業者が多くなり、政府は経済活動に対する規制緩和や郵政民営化などの政策を進めた。

	I	II	III
ア	A	B	C
イ	A	C	B
ウ	B	C	A
エ	C	B	A